



**平成21年3月期(第68期)第2四半期ご報告**

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

日機装株式会社

証券コード 6376



代表取締役社長

甲斐敏彦

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。いつも格別のご支援を賜り、まことにありがとうございます。ここに、日機装グループの平成21年3月期（第68期）第2四半期累計期間の事業の概況をご報告いたします。

当社グループでは、従来から中長期計画のもと、積極的な事業戦略、海外展開の加速、生産性の向上などに取り組んでおり、成果をあげてきておりますが、当第2四半期は、世界的な原油高・原材料コストの高騰や金融市場の混乱などにより景気後退の様相がいっそう鮮明になってきました。当社グループにおいてもこの影響を受け、特に利益面では、当初の計画を下回る結果となりました。受注高、売上高については堅調で、ほぼ計画どおりの水準となっています。

### 業績

当第2四半期累計期間の業績は、受注高375億円、売上高373億円、営業利益26億円、経常利益25億円、四半期純利益9億円でした。

当期から四半期決算制度がスタートしており、前中間期との直接の比較はできませんが、受注高、売上高については中間期として過去最高であった前期の数値を上回る水準となる一方、9月末にかけての急速な円高にともなう為替差損の計上により、経常利益は計画値を下回り、さらに株価急落による6億円の投資有価証券評価減の発生により、四半期純利益が減少しました。

部門別に見ると、工業部門では、海外向けのノンシールポンプ、サンダインポンプや新規事業の工場排水処理装置の受注が好調でしたが、お客様の設備投資への慎重さが増しており、電子部品生産機器などの売上に影響が出ています。医療部門にお

第68期  
第2四半期決算の  
ポイント

**受注高、売上高は  
引き続き堅調**

**経常利益、純利益は  
円高や株価急落の影響を受ける**

いては、ダイライザーをはじめとする透析関連消耗品は売上を伸ばしましたが、主力の人工腎臓装置については4月の診療報酬改定の影響から医療機関の設備投資もいっそう慎重な傾向となり、売上は計画どおりには伸びませんでした。

工場建設を決定しました。医療部門では、金沢製作所のダイライザー生産設備の増強、ベトナムの血液回路工場増強、ドイツの欧州向け人工腎臓装置生産工場の新規稼動をそれぞれ完了しました。

## 成長に向けての取り組み

世界有数の総合ポンプメーカーであるドイツのKSB社と合併会社を設立して新しいキャンドモータポンプの開発と欧州市場への販売強化を行ない、また、医療部門では米国バクスター社と協力関係を結び、当社の人工腎臓装置や血液回路などを同社の販売網を通じて世界各国へ供給するなど、新しい市場開拓に向けての取り組みを進めています。

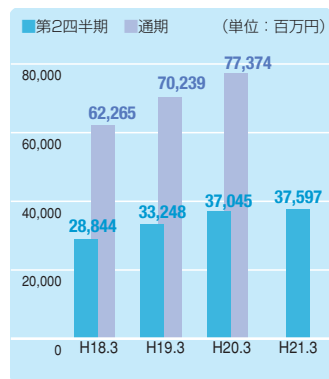
さらに、各マーケットで伸びている需要に対応するための生産体制の強化として、工業部門では主力工場の東村山製作所の設備更新・増強を進め、ベトナムでの航空機用部品の新

## 課題

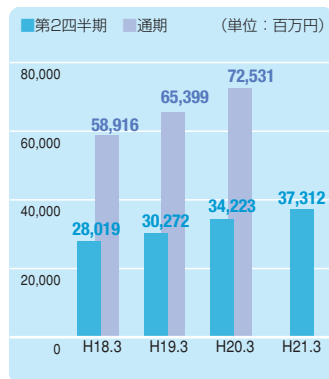
世界的な金融市場の混乱、円高の進行、また景気の後退基調などで、国内外各企業の業績が影響を受けてきており、当社においても例外ではありませんが、事業の基本となる受注高、売上高はなお堅調です。引き続き中長期の視点で事業のグローバル化を戦略的に展開すると同時に、次代を担う新しい事業、製品の開発を積極的に進め、より強い企業に成長するよう努力してまいりますので、株主の皆様のいっそうのご支援をお願い申し上げます。

平成20年12月

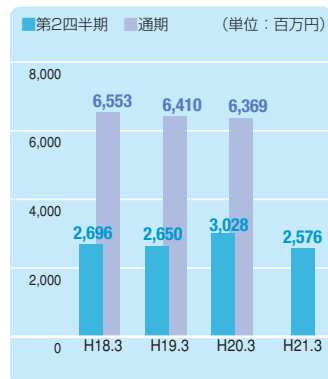
受注高



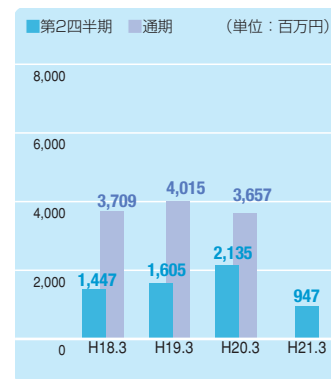
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



( ) 内は前年同期比

## 工業部門

受注高 **18,207** 百万円 (7.2%減)

売上高 **18,025** 百万円 (5.3%増)

### 流体技術カンパニー

#### 事業内容

無漏洩ポンプ（ノンシールポンプ）、高精度定量注入ポンプ（ミルフローポンプ）、高速遠心ポンプ（サンダインポンプ）、液化ガスに使用される極低温用ポンプ（クライオジェニックポンプ）などを中心とする製品の製造・販売・メンテナンスを行なっています。



ノンシール®ポンプ

受注高 **10,670** 百万円 ( 3.5%減)

売上高 **10,997** 百万円 (21.3%増)

海外向けのノンシールポンプ・サンダインポンプの受注や部品販売の受注が好調でしたが、クライオジェニックポンプの受注は、国際情勢の変化による商談の遅れから前年に比べて下回りました。他方、売上は、豊富な受注残高のもと予定どおりに製造・販売を遂行し、半期ごとの実績では過去最高を記録することができました。

### インダストリアル ソリューションズ カンパニー

#### 事業内容

火力・原子力発電所を中心とする各種産業向け水質調整装置およびこれらの周辺自動化装置などを組み合わせたシステム製品、温水ラミネータ等の電子部品生産機器、粉粒体の粒度分析計などの製造・販売・メンテナンスを行なっています。



火力発電所向け  
試料採取装置

受注高 **5,138** 百万円 (10.6%減)

売上高 **4,631** 百万円 (11.4%減)

新規事業として本格的に取り組んだ工場排水処理装置の引き合いが活発で、同装置を含めた水質調整装置関連の受注は過去最高を記録し、また、粒度分布測定装置も受注・売上とも好調を維持しています。一方、国内外の電子部品関係業界が深刻な低迷期に入り、主力の温水ラミネータは受注・売上とも大幅に落ち込みました。

### 複合材カンパニー

#### 事業内容

炭素繊維強化複合材製品の製造・販売を行なっています。主力製品は航空機用逆噴射装置部品（カスケード）です。



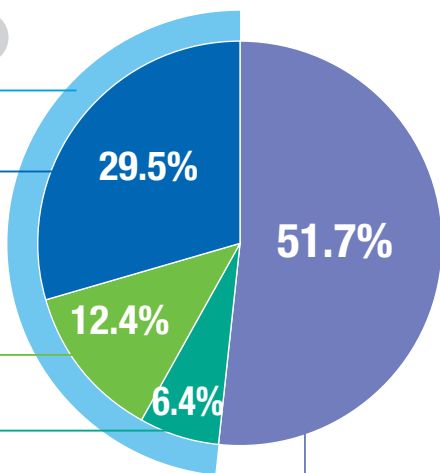
カスケード

受注高 **2,397** 百万円 (14.8%減)

売上高 **2,396** 百万円 (15.1%減)

円高の持続、9月初旬に生じたボーイング社の労働組合によるストライキ、同社製次世代民間航空機B787の開発スケジュールの遅れなどの影響により、受注・売上ともに伸び悩みました。

## カンパニー別 売上構成比



( )内は前年同期比

## 医療部門

### 医療機器カンパニー

受注高 19,390百万円 (11.3%増)

売上高 19,286百万円 (12.7%増)

本年4月の診療報酬改定による影響が続き、医療機関では経営環境の先行き不透明感を反映して医療機器への設備投資には一層の慎重さがうかがえ、主力製品の人工腎臓装置の売上は、新規導入・買い替えとも伸び悩みました。他方、PEPA 膜ダイアライザー、血液回路、透析用剤などの透析関連消耗品は、透析患者の増加を背景に順調に売上を伸ばしております。

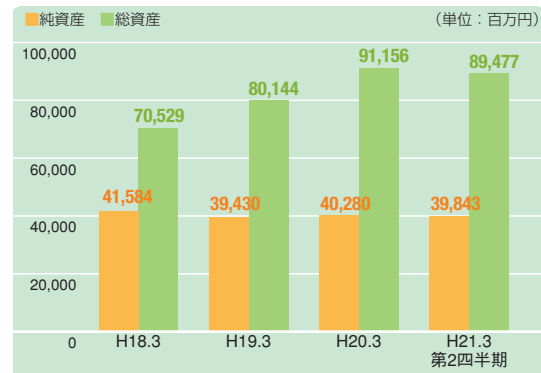


PEPA®膜ダイアライザー

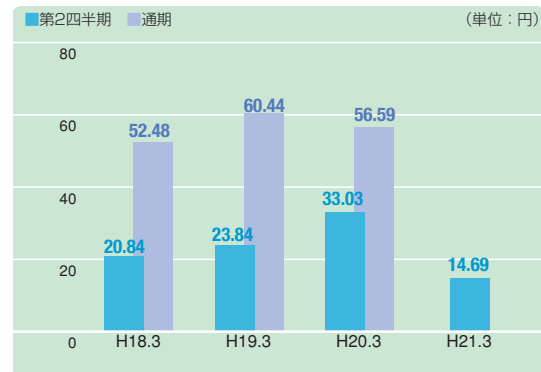
### 事業内容

人工腎臓装置、ダイアライザー、血液回路、粉末型透析用剤などの血液透析関連製品や人工臓器等の医療機械・器具の製造・販売・メンテナンスを行なっています。

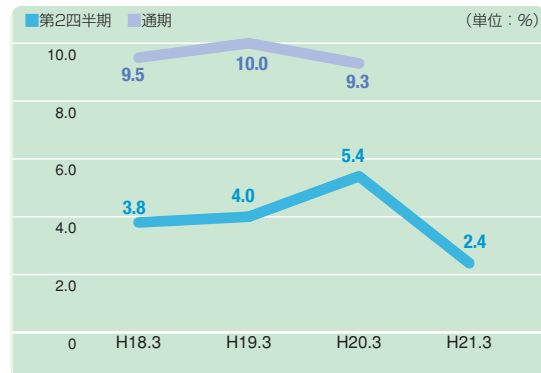
## 総資産・純資産



## 1株当たり純利益



## 株主資本純利益率 (ROE)



## 連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期	前 連 結
	連結会計期間末 平成20年9月30日現在	会計年度末 平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	54,542	56,502
固定資産	34,935	34,654
有形固定資産	20,180	20,513
無形固定資産	1,585	1,986
投資その他の資産	13,169	12,154
資産合計	89,477	91,156
<b>負債の部</b>		
流動負債	28,788	29,212
固定負債	20,846	21,663
負債合計	49,634	50,876
<b>純資産の部</b>		
株主資本	38,053	38,292
資本金	6,094	6,094
資本剰余金	10,270	10,272
利益剰余金	29,401	29,083
自己株式	△7,713	△7,158
評価・換算差額等	1,267	1,397
少数株主持分	522	591
純資産合計	39,843	40,280
負債純資産合計	89,477	91,156

### 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期	前中間連結
	連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	37,312	34,223
売上原価	25,939	23,152
売上総利益	11,372	11,071
販売費及び一般管理費	8,698	8,133
営業利益	2,673	2,938
営業外収益	509	488
営業外費用	606	397
経常利益	2,576	3,028
特別利益	3	885
特別損失	877	50
税金等調整前四半期純利益	1,701	3,863
法人税等	734	1,735
少数株主利益	19	△7
四半期純利益	947	2,135

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

科 目	当第2四半期	前中間連結
	連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,159	1,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,162	△1,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	122	9,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△267	76
現金及び現金同等物の増減額	△1,147	8,893
現金及び現金同等物の期首残高	10,565	6,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,417	15,172

## 欧州にポンプの合併会社設立



工事中の新工場

2008年7月、当社は世界有数のポンプメーカーであるドイツKSB社と、共同出資による合併会社Nikkiso-KSB GmbHをドイツに設立しました。

現在、フランクフルト近郊において新工場整備の工事を行っており、来年2月の竣工を予定しています。新工場では、両社の技術を結集

し開発を進めているISO規格に合致したキャンドモータポンプの新シリーズを生産します。このポンプは欧州をはじめロシア、中東、アフリカ市場向けに販売を開始する予定で、今後は欧州での市場シェアを約3割にまで押し上げ、売上規模は現在の3倍である20百万ユーロに拡大させる計画です。

## ベトナムに航空機用部品生産の新会社を設立



新工場完成予想図

2008年12月、当社は近年の旺盛な航空機需要に応えるため、ベトナムに100%子会社のNikkiso Vietnam, Inc.を設立いたします。2009年10月にはハノイ市郊外の第2タンロン工業団地内に新工場を竣工させ、炭素繊維複合材料(CFRP)を原料とした航空機用部品の生産を開始いたします。

敷地面積は37,000㎡で、延べ床面積は第1期工事分が2,000㎡。立ち上げ時の従業員は約30名を予定しています。第1期工事の総投資

金額は約7億円で、為替リスクの回避と合わせ、現地の良質な労働力を採用することで、より価格競争力のある生産体制の構築を目的としています。

同社では、今後さまざまなCFRP製品の生産を開始する予定で、4年後には国内の既存工場（静岡製作所内 複合材製品工場）と同等の50億円規模の生産高を目指しています。

また将来的には人工腎臓装置の部品組立など、医療向け製品の生産も視野に入れています。

## 液化ガス用「クライオジェニックポンプ」

環境負荷の小さいクリーンなエネルギーとして需要が拡大しているLNG（液化天然ガス）。この生産工程や移送工程でも、日機装の製品は活躍しています。中東などのガス産出地と世界中の需要地を結ぶ「LNGチェーン」を陰で支える日機装のクライオジェニックポンプ（極低温用ポンプ）は、当社を代表するグローバル製品です。

### 世界中の液化ガスプラントで活躍

クライオジェニックポンプは、LNGやLPG（液化石油ガス）など、液体化したガスを移送するために用いられるポンプです。天然ガスや石油ガスは気体の状態で産出されますが、気体のままでは輸送効率が悪いので、いったんガスを液化して約600分の1の容積にしてから、ガスタンカーで消費地近くの受入基地まで運び、再びガス化して利用されます。このサイクルの中で、クライオジェニックポンプは液化ガスをガスタンカーやガス化プラントに送り込む重要な役割を担っており、世界中の液化ガス関連施設で活躍

しています。営業、技術、メンテナンスなどのあらゆるスタッフが世界中を飛び回る、日機装きってのグローバルビジネスです。

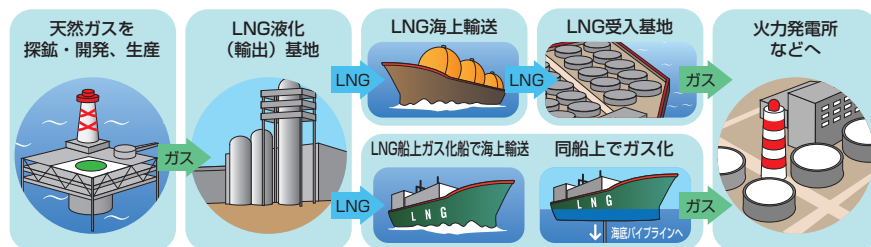
ポンプの大きさは用途によって異なりますが、大きいものでは直径1m程度、長さ5～6m程度の円筒形をしています。この円筒の内部には、液化ガスを汲み上げるポンプ機構と、それを駆動するモーターを内蔵しており、装置全体がタンクの中の液化ガスに浸された状態で働きます。マイナス160℃～マイナス200℃の極低温液体に浸された過酷な環境下で、1㎥当たり100kgもの高圧で液化ガスを外部に送り出すという、離れ業を演

じているのがクライオジェニックポンプです。

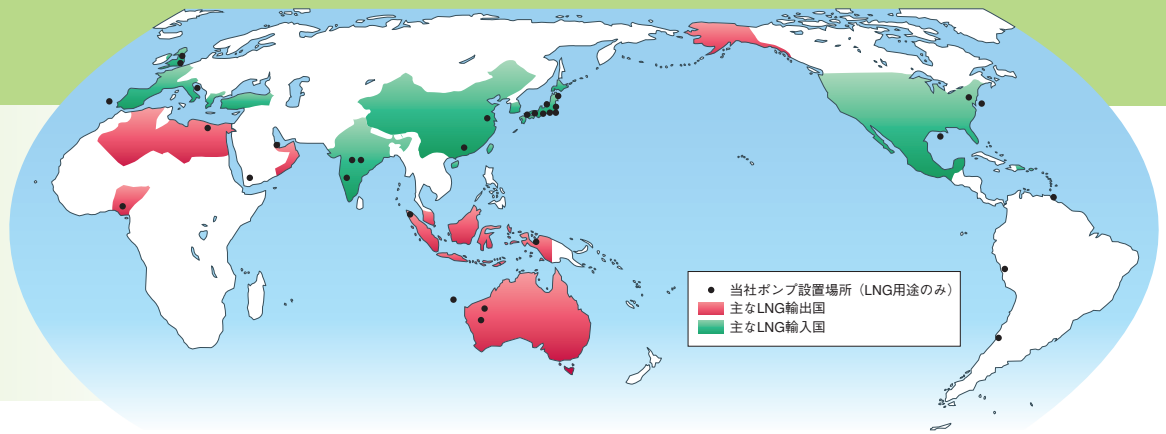
### 極低温ゆえの厳しい要求

クライオジェニックポンプは、通常のポンプに比べて価格が高いですが、これにはもちろん訳があります。低温に弱い普通鋼を用いることができないため、ほとんどの部品はステンレス鋼やアルミ合金といった高価な材料で製作されています。また、極低温下では、どのような金属も収縮してしましますが、このような環境でも部品同士が干渉したり、隙間が生じたりしないようにするには、非常に高度な設計ノウハウと加工技術が要求されるのです。

さらに、出荷前の試験運転にも多くの手間がかかります。タンク内にいったん設置されたポンプは、長期間にわたって安定して稼動することが求められますので、すべてのポンプは出荷前に実際の液



LNGチェーン



化ガスや液体窒素などを用いて試験を行なうことが必要です。このように多くの費用と労力をかけて、ようやくクライオジェニックポンプは完成するのです。

### 豊富な実績で築く高い評価

このように非常に高度なノウハウが求められるため、クライオジェニックポンプのメーカーは世界に5社ほどしかありません。その中でも当社の世界シェアは40%に達しており、中東やインドネシアなどのガス産出国を中心に、日米欧アジア各地の受入基地やガスタンカーなどに幅広く採用されています。

製品の安全性、信頼性が最も重視されるこの分野では、過去の実績が何よりも評価されます。当社のクライオジェニックポンプ事業は、1982年の米国JCカーター社との技術提携によって本格的に始まりました。オリジナルの技術をベースに独自の改良を蓄積し、各地で長期間に

わたる稼動実績を積み重ねてきたことが、現在の当社の地位を築き上げたのです。

さらに、時代の要請に応じて新たな技術に果敢に挑戦してきたことも、市場からの高い評価を支えています。最近では、船（LNG船上ガス化船）の上や海上に設置した「洋上受入基地」の上でLNGをガス化する技術が実用化されており、当社のポンプはこうした最先端の現場でも広く採用されています。資源開発競争が激化する中、当社のポンプが活躍する場面は今後ますます拡大しそうです。

### クリーンエネルギーの普及に貢献

LNGは近年、価格の変動が大きい原油の代替エネルギーとして、また環境負荷の少ないクリーンエネルギーとして注目を集めており、インドや中国、米国などがLNGの輸入を急速に拡大しています。クライオジェニックポンプ市場の成長は、LNGの需要の伸びとほぼ一致してお

り、当面は安定した成長が期待されています。当社のクライオジェニックポンプ事業の売上規模も年々拡大しており、現在は日米の工場がフル稼動している状況です。

当社はこうしたビジネスチャンスを的確に捉えるとともに、クリーンエネルギーの普及に貢献するため、今後もクライオジェニックポンプ事業を積極的に展開してまいります。



試験風景

## 会社の概況

創業日	昭和28年12月26日 (登記上の設立日は昭和25年3月7日)
資本金	6,094,984,191円
従業員数	連結 3,960名 当社単独 1,370名

## 役員・執行役員

代表取締役社長	甲斐 敏彦	執行役員	本間 久
常務取締役	長尾 章弘	執行役員	田代 初男
取締役執行役員	木下 博	執行役員	房前 芳一
取締役執行役員	中村 洋	執行役員	宮田 博明
取締役執行役員	野上 宏	執行役員	伴 信彦
取締役執行役員	西脇 章	執行役員	八木 隆雄
常勤監査役	山本 光祥	執行役員	中村 香
常勤監査役	圓尾 樹生	執行役員	素木 岫一
監査役	中根堅次郎	執行役員	清水 信行
監査役	菊地裕太郎	執行役員	千葉 敏昭
		執行役員	田中 康之

## 会計監査人

監査法人トーマツ

## 株式の状況

発行可能株式総数	249,500,000株
発行済株式の総数 (うち自己株式)	72,611,464株 8,884,152株)
株主数	8,951名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社みずほ銀行	3,199	4.40
株式会社みずほコーポレート銀行	2,577	3.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,403	3.30
三井住友海上火災保険株式会社	1,966	2.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,896	2.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822	2.51
日機装持株会	1,728	2.38
日機装従業員持株会	1,678	2.31
日本生命保険相互会社	1,500	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTBエクイティインベストメンツ株式会社信託口)	1,404	1.93

## グループ会社一覧

### 流体技術カンパニー

- 製造・販売  
日機装エコー株式会社  
サンダイン日機装株式会社
- メンテナンスサービス  
日機装リユーキテクノ株式会社
- 海外製造・販売  
Nikkiso-KSB GmbH  
上海日機装ノンシールポンプ有限公司  
Nikkiso Pumps Korea Ltd.  
Nikkiso Pumps America, Inc.  
Nikkiso Cryo, Inc.

### インダストリアルソリューションズカンパニー

- 製造・販売  
日機装サーモ株式会社
- メンテナンスサービス・工事  
日機装テクニカ株式会社
- 海外製造・販売  
台湾日機装股份有限公司(工業部門)  
Microtrac, Inc.

### 医療機器カンパニー

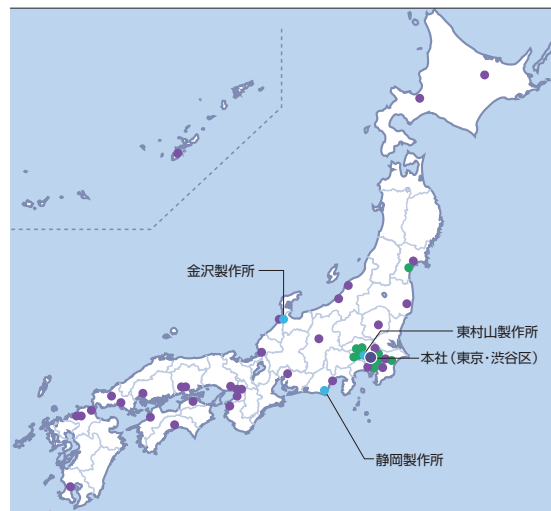
- 販売・メンテナンスサービス  
日機装東北医工株式会社
- メンテナンスサービス  
日機装M.E.S.株式会社
- 海外製造・販売  
M. E. Nikkiso Co., Ltd.  
Nikkiso Vietnam MFG Co., Ltd.  
Nikkiso Medical Systems GmbH
- 海外販売・サービス  
Nikkiso Medical GmbH  
上海日機装医療器械貿易有限公司  
台湾日機装股份有限公司(医療部門)  
Nikkiso Medical Korea Co., Ltd.  
Nikkiso Medical(Thailand) Co., Ltd.

### 共通部門

- 創光科学株式会社
- Nikkiso America, Inc.

## 国内拠点・関係会社

● 営業拠点 ● 生産拠点 ● 関係会社



東村山製作所



静岡製作所



金沢製作所

## 海外拠点・関係会社

● 駐在員事務所 ● 関係会社



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	(1) 事務取扱所 (お問い合わせおよび郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) (2) 取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
単元株式数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行ないます。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.nikkiso.co.jp">http://www.nikkiso.co.jp</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード6376)

当社ウェブサイト等のIR情報をご覧ください。

ホームページサイト  
<http://www.nikkiso.co.jp>

モバイルサイト  
<http://m-ir.jp/c/6376>



# 日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号  
電話 03-3443-3711

## お知らせ

### 各種手続きに必要な用紙のご請求

住所変更、単元未済株式の買取請求・買増請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求については、下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

### ●各種用紙請求専用フリーダイヤル

0120-87-2031

### ●ホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

### 株券電子化実施後の手続きのお申し出先について

平成21年1月5日から、上場会社の株券電子化が実施されます。これにともない、住所変更、単元未済株式の買取・買増のお申し出先が以下のとおり変更となります。

- ほふりに(証券保管振替機構)に株券を預けられている株主様：  
お取引証券会社等
- ほふりに株券を預けられていない株主様：  
特別口座管理機関である中央三井信託銀行  
お問い合わせ先は、左記株主名簿管理人と同じです。

### 株券電子化実施後の手続きのお申し出先について

ほふりに預託されていない単元未済株式をお持ちの株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

- 単元未済株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日から平成21年1月4日までに受付したものの買取代金のお支払いは平成21年1月26日とさせていただきます。また、平成21年1月5日から平成21年1月25日までの間、単元未済株式の買取請求の受付を停止します。
- 単元未済株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日から平成21年1月25日までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未済株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

